

飛騨市産広葉樹の樹種識別と原木生産の環境評価

木質資源工学研究室 沖永紗弥子

?

国産広葉樹に注目した理由

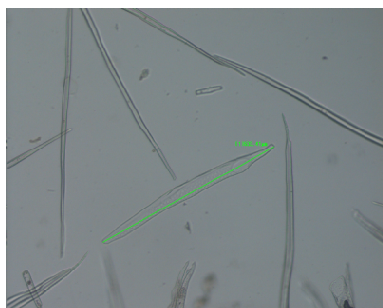
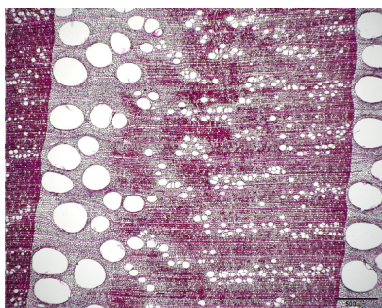
床板、家具等に用いる製材用の広葉樹資源は、これまで輸入材に依存していましたが、伐採規制や資源的制約から持続的・安定的な供給が困難となり、国産広葉樹に対する川下側の関心とニーズが高まっている（近畿中国森林管理局HP）

01

樹種識別



樹種識別をすることで飛騨市の各広葉樹の特定を図り、特性を知ることによる木材利用の発展へとつなげる



年輪幅・繊維長・道管長 測定
光学顕微鏡・低真空走査電子顕微鏡 観察

02

原木生産の環境評価



広葉樹原木生産時の温室効果ガス排出量を定量化することで、より正確な環境負荷を知り、地球温暖化への影響を明らかにする



飛騨市の森林組合や製材所を訪れ、製材手順や使用機械を調査
GHG排出量定量化のためのアンケートを作成

広葉樹ごとの特性を活かすことで製品の幅が広がる

消費者や顧客に対しても有益な情報を...

具体的な数値等を示すことではじめて製品の社会問題に対する貢献度や強みを提案できる

神奈川県川崎市の聖マリアンナ医科大学病院に飛騨市産ナラを使用し、都市部への利用促進を図ったプロジェクト

